

「授業づくり研究会」開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学文学部)

明けましておめでとうございます。

皆さまにとって飛躍の年になりますことを祈念しています。

今年初めての「授業づくり研究会」の準備ができましたのでご案内いたします。多くの皆さまの参加をお待ちしています。参加を希望される方は、協同教育研究所のホームページから申込をお願いします。参加申し込みのホームページが安永研究室から協同教育研究所に変更しました。ご注意ください。

むろん、これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も大歓迎です。皆さまとお目にかかれることを楽しみにしています。

研究会の後、情報交換会（懇親会）を予定しています。こちらは準備の都合がありますので、参加を希望される方は下記の期日までに連絡をお願いします。

記

1. 日時：2017年2月4日（土） 13時～17時まで
2. 場所：久留米大学御井キャンパス 学生会館ミーティング＝ルーム3
<http://www.kurume-u.ac.jp/soshiki/3/access.html>
3. 参加資格：協同教育（学習）および「協同」一般に関心のある方
4. 参加申込：協同教育研究所「結風」のHP（<http://yuikaji.me/wiki.cgi>）からお願いします。
(注意) HPからの申込に対しては自動返信になっています。
返信が届かなかった場合は下記「問い合わせ先」までご連絡ください。

5. 研究会の内容

今回、研究会の構成を「挨拶・導入」のあと、「基礎理論と技法」「実践・研究報告」「全体交流」の3本立てにしました。しばらくの間、この構成を基本に研究会を企画します。皆さまのご意見・ご要望をいただきながら、より望ましい研究会にしていきたいと思います。

- (1) 挨拶・導入 25分 (13:00-13:25)
- (2) 基礎理論と技法 40分 (13:25-14:05)
- a. 題目 : 「協同実践の提案」
- b. 講師 : 安永 悟 (久留米大学)
- c. 内容 : 今回は「協同実践」という新しい言葉を提案し、皆さんと検討してみたいと思います。これまで、協同学習の世界では「研究的実践」という言葉がしばしば使われてきました。協同実践は、この研究的実践を基盤とし、それを内包しつつも協同の意義を強調します。研究的実践において暗黙裡の前提とされていた「協同」をより強く意識した実践の在り方について吟味します。
- (休憩 15分)
- (3) 実践・研究報告 90分 (14:20-15:50)
- a. 題目 : 「協同学習の組織的な取組：輝翔館中等教育学校の事例」
- b. 講師 : 鹿田智弘・前原一央 (福岡県立輝翔館中等教育学校)
- c. 内容 : 本報告は、福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」に参加している輝翔館中等学校の実践報告です。輝翔館は協同学習とICTを活用した新たな学びと授業づくりの研究開発に、学校をあげて取り組んでいます。今回の報告では、鹿田先生より、学校全体としての取組について説明をいただきます。そのうえで前原先生による「短歌」をテーマとした模擬授業 (高3レベル) を体験していただきます。協同学習の理論と技法がしっかり根づいた授業です。国語科だけでなく、すべての教科の授業づくりに応用でき、大変参考になる授業です。
- (休憩 15分)
- (4) 全体交流 50分 (16:05-16:55)
- a. ファシリテーター : 須藤文 (久留米大学)
- b. 内容 : 協同学習に関して、参加者の皆さまが疑問に思っていることや質問したいこと、さらには自分の実践について、参加者同士が自由に交流しながら理解を深めることを目的としています。
- むろん、全体交流の場も協同学習の考え方と技法を用いて構成します。協同学習の経験知を高める場としても活用していただきたいと思います。
- (4) 事務連絡・閉会 5分 (16:55-17:00)

6. 懇親会のお知らせ

研究会終了後、下記の要領で懇親会を開催します。詳細は決まり次第お知らせします。参加希望者は上記「4. 参加申込」と合わせて1月30日 (月) までに、協同教育研究所のHPから申し込んでください。

場所： 西鉄久留米駅界限

時間： 18時00分～20時00分

会費： 4,000円程度

(注意) 直前の取り消しには応じかねます。参加されなくても参加費を徴収することがありますので、予めご了承ください。

7. 問い合わせ先

ご不明な点があれば、次までお願いします。

安永悟 yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp

以上